

令和3年度 地域でつながる家庭教育応援事業

第2回地域家庭教育推進県北ブロック会議

日時：令和4年1月20日（木） 14：00～16：00

場所：自由民主福島会館 参加者：構成員14名 事務局等5名



ブロック会議

Ⅰ 今年度の取組について

(1) 第1回地域家庭教育推進県北ブロック会議

今年度より新しいテーマで話し合いをするにあたり、事前にアンケートを行った。結果をもとに構成員それぞれの立場からお話しいただき協議を行った。**メディアコントロールと親子のコミュニケーションの回り方**を家庭教育の2つの柱とすることが明らかになった。



(2) 親子の学び応援講座

講演：子どもたちのネットメディアの利用における現状と危険性について
主な学び：メディア使用に関して**親子でルールを作る**こと、**家族で話し合い**をすること、**大人が子どもの手本になるスマホの使い方**をすることなどが大切。

家族で一緒？



家族で一緒!



(3) 家庭教育支援者地区別研修会

講演：みんなで考えよう、スマートフォン

～スマホトラブル、うちの子だけは大丈夫?～

演習：メディア社会における親子のコミュニケーションについて

主な学び：スマホ使用時の注意点や**危険から子どもを守るための術**、親子で守るルールの作り方、**スマホを介さない子どもとのコミュニケーション**の回り方。

スマホを介さない親子のコミュニケーション



共通の趣味



スマホから離れる時間



目を見て会話

(4) 家庭教育応援企業推進活動

(ア) 家庭教育応援企業通信

ブロック会議の内容、新規登録企業の紹介、応援企業の取組事例紹介、家庭教育情報などを全191の企業や学校に送付するとともにホームページに掲載している。

企業内学習会

(イ) 家庭教育応援企業 企業内学習会

講演：「いじめ、不登校、非行(SNSに起因する問題への対応)」

主な学び：子どもたちを取り巻く状況を把握したうえで、**子どもを理解し、話を聞き、見守る**ことの大切さについて。



(ウ) 学校への家庭教育応援企業の企業情報の提供

「職場見学・体験の実施」や「学校との協働活動」などで、学校が企業の協力を得やすくなるように「企業名・所在地・業種」を各学校に情報提供するため企業に同意を求めている。

中学校区ごとにまとめ「〇〇中学校区の家庭教育応援企業を紹介します」として学校へ送付予定。

2 今年度の取組結果をもとにしたグループ協議より

メディアツールを**正しく、恐れず使う**ことを学校と親が真剣に考えていくことが大切であり、メディア社会において、**より良いコミュニケーションの図り方**を探る必要がある。

成年年齢の引き下げがスマホの契約や適正な使用に影響が出ることについて考える必要がある。

2022年4月1日から
成年年齢は**18歳**



成年年齢の引き下げに伴い
契約等でのトラブルが心配

県北の家庭教育テーマ メディア(SNS)コントロールの在り方

スマホは、「親が**子どもに使わせてあげている**」ということをしっかり分からせることが必要である。



あくまでも「契約者(親)が使用者(子)に使わせてあげている」 <原則を忘れずに!>

家庭内暴力・不登校などへの対処法についても触れられる研修があると良い。

子どもの意見を聞く場や大人と子どもがお互いの**本音を出し合う場**があると良い。

未然防止ばかりでなく**メディア依存症**になってしまった場合の手立てについても対応した方が良い。

子どもの問題だけではなく、ルールを守らない大人による**歩きスマホ、ながら運転**などが深刻な社会問題である。



スマホ依存に
なってしまったら…



大人のルール違反

企業内学習会は、事業主や共に働く方々の**家庭教育に対する理解**を得るための大変貴重な機会である。また、PTA 活動等に参加したくてもできない保護者にとって大切な機会でもある。

家庭教育応援企業推進事業

学校と企業が連携することで、地元の企業を身近に感じ、**地域のつながり**にも良い影響を与えるのではないか。

学校への企業情報の提供は、自分の地域にある企業を知ることができ、**子どもたちの将来の目標**に繋がることが期待できる。

企業通信をもっと**広く周知**するとともに、企業の反応を知ることによって次の活動につなげていくと良いのではないか。

